

10月19日のウクライナ情報

安齋育郎

●捕虜交換(2022年10月18日)

ロシアがウクライナ側に変換したのは主に女性兵士達。

ウクライナ側から戻ってきた 110 人の内 79 人は民間人の船乗り。船の修理で黒海にいたところ、2月24日から人質にされていた。民間人を捕虜交換に差し出すウクライナ。

https://twitter.com/animal_lights/status/1582222384421285888?t=PaucTtFoI1Wd42pFmgzYQ&s=09



●ブルキナファソの若者がロシア支持のデモ(AFP=時事、2022年10月18日)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ddbd09dc09a6d7b71778bfc8efdfcd1051227de2>



●2014年、クーデター反対者は攻撃された(投稿:2022年10月19日)

2014年、民間住宅に銃を撃って威嚇行為をするウクライナのボランティア大隊。クーデターに反対する意見を潰す事が彼らの任務

<https://www.youtube.com/watch?v=tPQdbyUL0>



●ウクライナ兵、ロシア兵に成りすまして出撃(投稿:2022年10月18日)

ウクライナ軍は2022年4月、マリウポリからザポロジエへの出撃を準備していた際、戦車やその他の装備に **ロシア 軍の識別マーク(VとZの文字)**を描いていた。現在収監されているウクライナ海軍少佐、ニコライ・ミシチェンコ氏がスプートニクに語った。

ミシチェンコ氏はまた、アゾフ大隊(#ロシア では活動禁止のテロ組織)所属の #ウクライナ 民族主義者らが、何らかの証拠映像を撮影し、それを海外に送信していたと証言した。

https://twitter.com/sputnik_jp/status/1582326469061390336?t=LEBpJjyh5FnDNhoue3Jdg&s=09



●ウクライナ兵はどの訳かいない(2022年10月18日)

ロシアによるウのインフラへの攻撃で LNR 戦闘員の士気は上がっている。LNR 人民軍第 3 大隊の下士官は「敵側からは砲撃が減り、防御まで少し低くなった」と語る。偵察隊は主にドイツ語とポーランド語の会話を傍受している。「ウクライナ兵は、どういうわけか、いない」。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1582281071709736961?t=GgfFxPiCk-ZRQhO6ySPF2g&s=09>



●ノルドストリームのパイプラインの破壊された映像(2022年10月)

スウェーデンが公開した、破壊されたノルドストリーム・パイプラインの映像。水中ドローンのオペレーターであるトロンド・ラーセンは、このような厚い金属を損傷するのは極端な力が働いたと述べている模様。

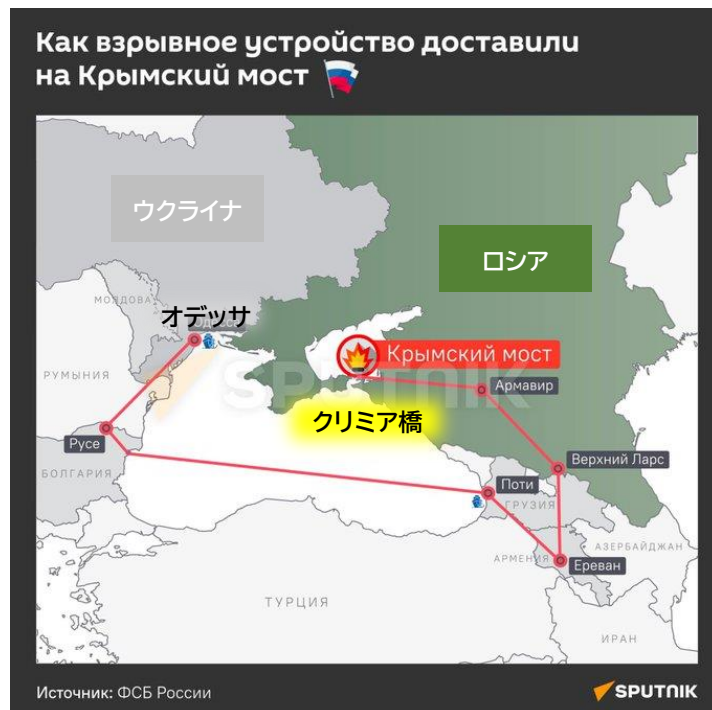
<https://twitter.com/tobimono2/status/1582317451626225665?t=VtJXlIGUF2wZvkol15gkPOA&s=09>



●ロシアが穀物協定を離脱する可能性(2022年10月18日)

クリミア橋のテロ事件の主犯は、オデッサ方面から海路で爆発物を運んだ可能性がある、とパスコフ報道官が発表した。工作員が全ての状況を明らかにしていると指摘し、事件の詳細は徹底的な調査後に公表されるとのことである。

これに先立ち、プーチン大統領は、クリミア橋へのテロ攻撃用の爆薬の搬入が確認されれば、ロシアは穀物協定から離脱すると発言。



●ウクライナ軍にザポリージャからの移動を求める(2022年10月18日)

10月18日、ザポリージャ行政機関代表のロゴフ氏はウクライナ軍に対しザポリージャ州境界から遠くへ移動し、ニコポリ、マルガネツ、トマコフカ等ドニプロペトロフスク州にある居住地の非武装化を要求。これが原発周辺の警備の主な条件となると述べた。

「ウクライナ側は、ザポリージャ地域の前線で死んだウクライナ兵の遺体を引き取らない」とロゴフ氏が述べている。前線では定期的に沈黙体制が宣言され、その間にウクライナの部隊が遺体を移動させられるのだが、「彼らは遺体を運び出さない。野原に横たわっているだけだ」という。



●イギリスのトラス首相、辞任圧力強まる(2022年10月18日)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3ae21f1ebad379300ecc92ae44ad6276cb79630f>

トラス英首相が打ち出した大型減税策が市場の混乱を招いた問題で、与党・保守党内からも首相の引責辞任を求める声が高まっている。

「トラス降ろし」の動きも出始めており、近く政局に発展する可能性がある。

9月6日に就任したトラス氏は同23日、物価高対策として減税総額が5年間で約450億ポンド(約7兆6000億円)に上る減税策を発表した。だが大規模減税による財政悪化への不安から、通貨ポンドが急落するなど市場が混乱していた。

事態收拾のため、トラス氏は10月14日にクワテング財務相を解任し、目玉政策の一つだった「法人税率引き上げ凍結」なども撤回。さらに後任のハント新財務相は17日、その他の減税策についても「ほぼ全て撤回する」と発表し、重要政策が発表から1カ月たらずで撤回される異例の事態となった。トラス氏は17日、英BBC放送のインタビューで、混乱を招いたことについて「責任を認め、過ちを謝罪したい」と述べる一方、「私は職務を遂行するために(首相に)選出された」と訴え、引き続き首相を続ける意向を強調した。

英メディアによると、こうした混乱を受け、17日夜までに保守党内の少なくとも5人の議員が「破壊者はいない。まとめ役がほしい」「彼女の地位はもはや回復不可能だ」などとトラス氏に辞任を要求。党首選を管理する党内の委員会が、近くトラス氏に辞任を促す可能性があるとも報じられている。

トラス氏が辞任を受け入れ、党首選になった場合、後任候補には7~9月の党首選でトラス氏に敗れたスナク元財務相のほか、モーダント前国防相、ハント財務相らの名前が挙がっている。

ただ党首選は9月に終わったばかりのため、党内には短期間で再び党首選を実施することへの抵抗もあり、トラス氏の擁護派からは「今は政治の安定が重要だ」と「トラス降ろし」を批判する声も根強い。

トラス氏の減税策については、国際通貨基金(IMF)が「格差を広げる可能性が高い」と再考を促す声明を出し、バイデン米大統領も「間違いだと思った」と批判するなど国際的に懸念が広がっていた。

【ロンドン篠田航一】



●EUがガス価格の上限設定を拒否(2022年10月18日)

モスクワ、10月18日 - RIA Novosti。ブルームバーグ(経済、金融情報の配信、通信社)が入手した文書によると、欧州連合は政治的な違いによりガス価格の上限を直ちに設定することを拒否した。



●ドネツクの戦況情報(2022年10月18日)

モスクワ、10月18日 - RIA Novosti。ロシア軍は、ウクライナの S-300 防空システム、3つのレーダー、および HIMARS 小隊を DPR で破壊した。

また、対砲撃戦の過程で、ヘルソン地域のトリフォノフカとノヴォニコラエフカの入植地で、ウクライナ軍の2砲兵中隊と、アメリカの HIMARS 多発ロケットシステム小隊が敗北した。ドネツク人民共和国のドロビシエヴォ入植地の地域。



●G7へのプーチン大統領参加の可能性(2022年10月18日)

◆記者質問:インドネシアでの G20 サミットへの大統領の参加は確実でしょうか。そうだとしたら、その際に米国のバイデン大統領と話し合いを行うおつもりはありますか。

◇プーチン大統領:私とそういった話し合いを行うつもりがあるのかどうか、彼の方にも尋ねなければなりませんね。正直に言って、私はその必要を認めません。そもそも現時点では、何らかの話し合いを行うプラットフォームがありません。行くかどうか、最終的な決定はまだ行っていません。しかし、ロシアは必ずこの仕事に参加しますし、どのようなフォーマットでの参加になるかを検討しているところです。

<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1582147796412817409?t=SltL aO GzunUzKvf8fKZOA&s=09>



●一方は宣伝し、不都合は隠す(投稿:2022年10月18日)

〈投稿者コメント〉ウクライナのナチはいまだに、ロシア兵捕虜を生きたまま焼き殺し、犬に食わせるようなことやっています。

それを「ロシアがウクライナ軍の兵士にやった」とウソを書けばグロ画像でも拡散できるけど、「ウクライナのナチがやった事実」と証拠動画を挙げて書けば凍結されます。「ロシアの犯罪事実を歪曲宣伝

している」という罪を着せられて。

〈2022年4月にあったつくり話〉

「ロシア兵は遺体を犬に食わせている」

ツイッターでその名を知られ、アメリカの退役軍人でウクライナ傭兵として参戦しているというジェームズ・バスケスは、アメリカの地下鉄で喧嘩しているところを映像化された。

彼は「ロシア軍は遺体を犬に食わせている」とTikTokで発信して話題になったが、「現実の世界はTikTokとは違うんだよ、ジェームズ。ウクライナの近くにもいなかったんだらうな」と冷やかされている。ゴンサロ・リラさんは、「ジェームズ・バスケスという自称アメリカの退役軍人の動画はウクライナのプロパガンダだ」と、動画を細かく見ながら説明している。バスケスは俳優で、いくつかの映画に出演している。



米国人ジェームズ・バスケスさん(47)写真右、ツイッターからは3月中旬からウクライナ国内で外国人部隊に入隊。プーチン大統領によるウクライナ侵攻に反対

海外仰天ニュース

「ロシア兵は犬に遺体を食わせている」

「ロシア兵は死んだ戦友の遺体を引き取ることを拒否し、そのままにしている。遺体は野犬に食われるままになっている」とツイッターに投稿。そして「米国人は仲間の遺体をそのまま放置して立ち去ることはない」と述べた。バスケスさんは米軍の退役軍人で、かつてイラクに2回、アフガニスタンに1回の従軍経験があり、戦地での米兵の行動を熟知している。今回はロシアによる理不尽な侵攻を見かねて、外国人部隊に参加している。

日刊ゲンダイ(4月3日)

バスケスがプロパガンダ撮影に参加していた時期、彼はニューヨークの地下鉄で喧嘩していた。

ただいまプロパガンダ中なり



ただいまNYで喧嘩中なり



ジェームズ・バスケス

●プーチンの2022年9月30日演説(再送、日本語字幕付き)

<https://twitter.com/GyTOGf3RTanlp98/status/1582211738258538497?t=ovzOSfAFpY953BdJyI3naQ&s=09>



●死亡宣告と補償(2022年10月18日)

ウクライナ軍第 24 旅団の行方不明者の親族がリヴィウで抗議デモを実施している模様。親族は、死亡宣告を受けない限り、補償を申請することはできない。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1581907630481584128?s=20&t=YAQchS3sJJP-uXWBCalbXQ>



●イスラエルのテレビアニメ(2022年10月18日)

「ヨーロッパを支持するものはヨーロッパに残らなければならない」

<https://odysee.com/@Jano:7/UkropPigs:c>

